



(第4期) 第8回まつもと子ども未来委員会の報告

平成30年9月14日

第4期の第8回まつもと子ども未来委員会は、平成30年9月9日(日)中央図書館で行いました。この日は、32人の委員のうち20人の委員が出席し、進行は副委員長、副委員長が行いました。

1 行政相談学習会

まず、まちづくり学習のひとつとして、「『行政』と『行政相談』」というテーマで、長野行政監視行政相談センターの方、行政相談委員の方から、「行政」とは何か、暮らしのなかで「行政」がどんな関わりをしているのか、教わりました。



●○ 学習したこと ○●

- 「行政」とは、国、都道府県、市町村の役所のこと（松本市では、「松本市役所」）で、みんなが共同で使うものを作ったり、無料（または安い値段）でないとこまる仕事をしている（例：毎日の通学とき、いつも通行料をとられたら困る→行政が道路を管理する）。
- 水道を使う＝松本市水道局（水道の管理）、通学する＝国・県・市など（道路の整備維持）、学校で勉強する＝松本市教育委員会（校舎の管理、先生のこと）など、「行政」は毎日の生活に関わっている。
- 赤ちゃんが生まれる＝市町村に出生届を出す、結婚する＝市町村に婚姻届を出す、家を建てる＝法務局に届け出る、年金をもらう＝年金事務所で手続きするなど、人の一生にも「行政」が関わっている。
- 行政相談委員とは、そんな「行政」について、こまったことがあったとき、相談を受けて、解決のために活動してくれる人のこと。
- 例えば、これまでに、自転車がスピードを出して危険な坂道があるとの相談を受け、スピードの出しすぎに注意する看板を設置したり、歩道橋のコンクリートがはがれていて危険との相談を受け、きれいに直してもらったりしている。

2 提言に向けた準備

(1) グループ分け

次に、11月の提言に向けた準備をしました。

効率良く準備を進めていくために、全員で一つの話を話合って準備するのではなく、3つのグループに分かれて準備する方法について、事務局から提案がありました。委員は、グループ分けをすることやグループの種類については、提案のとおりで良いという意見だったので、委員の希望をもとに、人数を調整しながら、次の3つのグループに分けられました。



(50音順)

活動紹介グループ	ごみ問題提言グループ	交通ルール提言グループ
小学生5名 中学生1名	小学生7名 中学生1名	小学生4名 中学生3名

※ 委員長・副委員長はなるべく別々のグループになるように、欠席だったとしても、今回グループを分けました。別のグループが良いという希望があったら、また考えることにしました。

※ 委員長・副委員長以外で今回欠席だった人は、次回以降にグループを決めます。

(2) 話し合い

グループ分けの後は、それぞれのグループでどんなことを発表するか、話し合いを進めました。

グループでこの日に話し合ったことは、別の紙にまとめてあります。次回も引き続き、話し合いを進めて、提言の準備を続けます。

次回の委員会は、9月29日(土)に中央図書館で行います。いつもとちがって土曜日なので、注意してください。

【各グループからの意見（発表の内容について）】

●○ 活動紹介グループ ○●

- 委員会について
 - 今年で4年目だということ／委員の人数／委員会のマークのこと
- 活動内容について
 - 学習会／市内見学
- 交流事業について

●○ ごみ問題グループ ○●

- どんな松本をめざすか
 - 酒の容器、たばこを車から捨てないまち
- 松本のいま
 - 良いところ：自然が豊か、空気がきれい、ごみ拾い活動が多い
 - 悪いところ：道にごみがある、外国人のポイ捨てがある

●○ 交通ルールグループ ○●

- どんな松本をめざすか
 - 事故がない、ゆずり合う、「松本走り」がない
- 松本のいま
 - 良いところ：子どもがルールを守っている、看板を立てている
 - 悪いところ：逆走がある、わりこみがある、「松本走り」、車内の音楽がうるさい
- どうしたら良いか
 - 多国語表記の看板を立てる、取り締まり強化、一方通行の道を分かりやすくする、車の窓が開いているときの音量制限をする